

「金色の風」 ASIAGAP 団体認証取得に向け始動

GAP 団体認証取得を宣言

JAいわて平泉「^{こんじき}金色の風」栽培研究会



決意を表明する栽培研究会の小野正一会長[Ⓜ]

JAいわて平泉「金色の風」栽培研究会とJAは8月1日、県内初となる第三者認証のASIAGAPの団体認証を目指すことを県南広域振興局の細川倫史局長に表明しました。JA職員が指導員資格とリーダー養成研修を受け、内部監査体制を整え、年明けに取組宣言をする予定。来年中の認証を目指し、東京五輪・パラリンピックでの国産食材の需要増への対応や、「金色の風」のPRや販売戦略につなげていきます。



「ひとめぼれ」 23回目の「特A」取得を目指す

「特A」取得に向けて技術の向上を

一関地方良質米生産協議会総会



良質米生産に向け期待を込める佐藤組会長

JAや行政機関などで組織する一関地方良質米生産協議会は8月21日、総会を開きました。平成29年度は、主力品種「ひとめぼれ」と新品種「金色の風」で日本穀物検定協会の食味ランキング最高評価の「特A」獲得を目指すとともに、「金色の風」で第三者認証のASIAGAPの取得を目指すことを確認しました。会長を務める佐藤鉦一組会長は「『金色の風』は全国ブランド化を目指すためにもしっかりと対策を講じてほしい」と期待を込めました。